

第48回全国育樹祭 基本計画



みやぎ 2025

第
48
回

全国育樹祭

次世代へ みどりのかけ橋 森づくり

令和6年3月
宮城県

目 次

第1章 全体計画

1. 全国育樹祭の目的	2
2. 宮城県での開催状況	2
3. 第48回全国育樹祭の開催理念	3～4
4. 大会テーマ	5
5. シンボルマーク	5
6. ポスター原画	5
7. 開催概要	6
8. 開催場所詳細	7

第2章 運営計画

1. 運営体制	8
2. 輸送計画	8
3. 宿泊計画	8
4. 警備・警護	9
5. 救護・衛生	9
6. 消防・防災	9
7. 参加者サービス	9
8. 物産等展示・販売	9
9. 記念品等	10
10. 昼食	10
11. 雨天・荒天時等対応計画	10

第3章 お手入れ行事計画

1. 会場の概要	11
2. 会場整備・設営	12
3. 行事参加者	13
4. 行事の概要	13

第4章 式典行事計画

1. 会場の概要	14
2. 会場設営	15
3. 式典参加者	16
4. 式典行事の概要	17～18
5. 会場計画図	19

第5章 併催行事計画

1. 育林交流集会	20
2. 全国緑の少年団活動発表大会	20

第6章 記念行事計画

1. 記念行事	21
---------	----

第7章 その他

1. 懇談会（歓迎レセプション）	22
2. 広報・協賛等	22



1. 全国育樹祭の目的

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発し、国民の森林に対する愛情を培うことを目的に、昭和52年から、全国植樹祭を開催したことのある都道府県において、毎年秋季に行われている国民的な緑の祭典です。

この祭典では、全国植樹祭において、天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を皇族殿下がお手入れされるシンボリック的行事に加え、参加者による育樹活動、皇族殿下によるおことばや各種表彰等による式典行事等を通じ、健全で活力ある森林を育て、次世代へ引き継ぐことの大切さを伝えていきます。

2. 宮城県での開催状況

本県では、昭和30年に「第6回全国植樹祭」及び平成9年に「第48回全国植樹祭」が開催されています。全国育樹祭は、令和7年が初めての開催です。

第6回全国植樹祭（昭和30年）

昭和30年4月6日に大衡村平林地区において、天皇皇后両陛下をお迎えして開催しました。「林種転換拡大造林」をテーマとして、アカマツのお手植えや参加者による記念植樹などが行われました。

【開催概要】

- テーマ : 林種転換拡大造林
- 開催日 : 昭和30年4月6日
- 会場 : 宮城県黒川郡大衡村



第48回全国植樹祭（平成9年）

平成9年5月18日に白石市（国立花山青少年自然の家南蔵王野営場）において、天皇皇后両陛下をお迎えして開催しました。「森づくり 大地に託す 夢・未来」をテーマとして、ブナやオオヤマザクラのお手植えや参加者による記念植樹などが行われました。

【開催概要】

- テーマ : 森づくり 大地に託す 夢・未来
- 開催日 : 平成9年5月18日
- 会場 : 宮城県白石市





3. 第48回全国育樹祭の開催理念

本県は、東北地方の南東部に位置し、東部は太平洋に面し、西部は奥羽山脈、北東部には北上山地、南部には阿武隈山地が連なり、中央部の仙台平野には北上川、阿武隈川と雄大な河川が流れ、森から川、そして海へと繋がる豊かな自然に恵まれています。

県土面積の6割を占める森林は、県土の保全、地球温暖化の防止、林産物の供給等を行うほか、森林が生み出す良質な水資源は、県民生活の基盤を支え、本県の豊かな漁場を育て、森林の持つ多面的な機能はSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けても大きな役割を果たしています。

この大切な森林を未来に引き継いでいくために、本県では平成30年3月にみやぎ森と緑の県民条例を制定しました。この条例に基づき「木を使い・植え・育てる」循環の定着などを目指して、各種施策を推進しています。

本県の木材利用においては、宮城伝統こけしや矢羽木工品など、地域に根差した木工品や木の文化が受け継がれているほか、製紙、合板、製材などの大型木材加工工場が立地する全国有数の木材需要拠点をも有するなど、時代の流れに沿って多種多様な木製品等を供給してきました。この流れを絶やすことなく、新たな技術やアイデアで木材利用を推進していくことは、森林の循環利用を進める上でも重要であり、CLTやFSC認証材、広葉樹の活用など、新たな木材利用の取組が進められています。

平成23年3月に発災した東日本大震災の津波によって、仙台藩から続く本県の海岸防災林は壊滅的な被害を受けましたが、県内外の多くの皆様から御支援・御協力をいただき、震災から10年の歳月を経て令和3年4月に植栽が完了しました。今後も、海岸防災林の保育作業体験などを通じ、震災の教訓伝承に取り組むとともに、地域住民や民間企業、観光施設と連携しながら、地域に愛される防災林に育てていく必要があります。

その後、令和3年10月には、第40回全国豊かな海づくり大会を開催し、豊かな海を育む山・森・河川のつながりや環境保全の大切さを全国に発信したほか、令和4年4月には、林業関係団体と行政で構成される、みやぎ森林・林業未来創造機構により、みやぎ森林・林業未来創造カレッジが開校され、官民一丸となって林業の担い手確保・育成に取り組むなど、循環型の森林・林業・木材産業の定着に向けた取組が進められています。

こうした中で、本県において全国育樹祭を開催することは、大会の主旨である「健全で活力ある森林を次世代へ引き継ぐことの大切さ」に加え、持続可能な森林づくりや森と海のつながりなどを国民・県民の皆様にも再認識していただく絶好の機会でもあります。また、宮城伝統こけしなどの地域に根差した木の文化、CLTや広葉樹の活用などの新たな取組や人材の育成、震災から復旧した海岸防災林、さらには豊かな農林水産物等、本県の取組や魅力を全国へ発信するとともに、宮城県らしさ溢れる行事として「第48回全国育樹祭」を開催いたします。

第48回全国育樹祭 基本コンセプト

全国植樹祭

第6回（昭和30年）大衡村
～ 林種転換拡大造林 ～

第48回（平成9年）白石市
～ 森づくり 大地に託す 夢・未来 ～

第48回全国育樹祭
（令和7年）

大会テーマ

次世代へ みどりのかけ橋 森づくり

第48回全国育樹祭 3つの柱

持続可能な
森林づくりの継承

「木を使い・植え・育てる」循環の大切さを伝えます。
「森と海のつながり」の大切さの理解を広げます。
健全で活力ある森林を次世代へと引き継いでいきます。



伝統と新技術による
木材利用の発信

地域に根差した木の文化や新しい木材利用の
取組みを発信します。



震災の教訓の伝承と
新たな価値の創造

東日本大震災から復旧した海岸防災林を通
じて震災の教訓を後世に伝えます。
海岸防災林が人々が集い、親しまれる場とな
るきっかけとします。



「木を使い・植え・育てる」循環を世代をつないで共有する“みどりのかけ橋”として大会を展開。
宮城の木を使う伝統や新しい技術を紹介し、東日本大震災の経験を伝えながら、
持続可能な社会の実現を支える森林づくりの精神と活動を県内外に広げていく大会とします。

循環型
森林づくりへの
理解

世代をつなぐ
幅広い県民の
参加

震災の教訓を
森林づくりへ
活かす

伝統と新技術で
木材利用の
新しい価値を創造



4. 大会テーマ

次世代へ みどりのかけ橋 森づくり

- 作者 ふくしま すすむ 福島 進 さん（埼玉県本庄市在住）
- 説明 森をキーワードに、次の世につなぐかけ橋をアピール。

5. シンボルマーク



- 作者 はま ちひろ 濱 千尋 さん（宮城県仙台市在住）
- 説明 森を育て守る様子をキャラクターで表現しました。足は土、手は水をイメージしています。宮城の「み」を使って親しみやすいユニークな表情にしました。「み」には、宮城のほか、みどり、みんな、未来など育樹祭開催に向けた思いを込めています。

6. ポスター原画



- 作者 のがみ あいか 野上 愛馨 さん（宮城教育大学附属小学校2年）
- 画題 『植樹をしたよ』
- 説明 植樹に参加した時の絵をかきました。



7. 開催概要

(1) 全国育樹祭行事

- ア. 主催 : 宮城県、公益社団法人国土緑化推進機構
- イ. 開催時期 : 2025年(令和7年)秋季
※開催期日の決定: 2025年(令和7年)1月(予定)
- ウ. 参加人数 : 約5,000人
- エ. 内容 : ○皇族殿下によるお手入れ行事
○式典行事
 - ・皇族殿下のおことば
 - ・緑化功労者等の表彰
 - ・緑の少年団活動の発表
 - ・メインテーマアトラクション
 - ・大会宣言など○参加者による育樹行事
- オ. 開催場所 : ○お手入れ行事
 - ・国立花山青少年自然の家南蔵王野営場
(第48回全国植樹祭開催地) : 白石市○式典行事
 - ・セキスイハイムスーパーアリーナ
(宮城県総合運動公園総合体育館) : 利府町

(2) 併催行事

- ア. 育林交流集会
- イ. 全国緑の少年団活動発表大会

(3) 記念行事

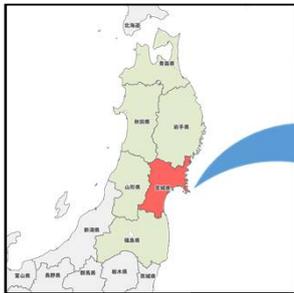
- ア. 森林・林業・環境機械展示実演会
- イ. その他の記念行事
 - ・「国民参加の森林づくり」シンポジウム
 - ・宮城県みどりの少年団活動発表大会
- ウ. 育樹行事
 - ・市町村、関係団体等と連携した育樹行事等



第1章 全体計画



8. 開催場所詳細



お手入れ行事（白石市）



式典行事（利府町）





1. 運営体制

(1) 実行委員会の設立

県内の関係機関及び団体等が一体となって、全国育樹祭の開催に向けた準備を万全なものとするため、令和5年度に「第48回全国育樹祭宮城県実行委員会（以下「実行委員会」という。）を設置しています。

(2) 実施本部の設置

全国育樹祭の式典等を円滑に実施・運営するために、令和7年度に「第48回全国育樹祭宮城県実施本部（以下「実施本部」という。）を設置します。

(3) 緊急対応

荒天時における式典等の実施判断や非常事態等に緊急対応するための体制を整備します。

2. 輸送計画

(1) 輸送日程

第48回全国育樹祭のお手入れ行事当日（併催行事開催）と、式典当日の2日間を基本とします。

(2) 輸送計画

参加者の安全な移動のための借上げ車両を基本に策定します。

(3) 駐車場計画

参加者の円滑な輸送を行うため会場周辺に借上げ車両等の駐車場を確保します。

3. 宿泊計画

(1) 宿泊対象者

宿泊対象者は、県外参加者とします。

(2) 宿泊期間

原則として、お手入れ行事前日から全国育樹祭式典当日までとします。

(3) 宿泊地

仙台市内を中心に選定します。



4. 警備・警護

宮城県警察本部及び関係機関等との緊密な連携のもと、警備・警護に万全を期します。

5. 救護・衛生

お手入れ会場、式典会場等における傷病者の救護に関する体制を整備します。また、飲食等による事故防止や感染症予防のため、環境衛生対策に万全を期します。

6. 消防・防災

消防等の関係機関との緊密な連携のもと、万一の火災、自然災害等の緊急事態に備えます。

7. 参加者サービス

総合案内所、湯茶接待所等を設置し、参加者へのサービスに努めます。

8. 物産等展示・販売

式典会場に「おもてなしコーナー」を設置し、宮県の特産品の展示・販売や観光情報を発信します。



「おもてなしコーナー」イメージ



第46回全国育樹祭（茨城県）のおもてなしエリア



第2章 運営計画



9. 記念品等

全国育樹祭への参加を記念し、宮城県らしい記念品を贈呈します。
会場で使用する物品のほか、パンフレットなどを配布します。



第46回全国育樹祭（茨城県）の式典参加者配布用品等

10. 昼食

宮城県産の農林水産物を使用した、宮城県の味覚を満喫できるメニューを検討します。
弁当の製造から輸送、保管、配布に至るまで、徹底した衛生管理を行うとともに、容器や包装資材については、環境に配慮したものを使用します。



第46回全国育樹祭（茨城県）の配布弁当

11. 雨天・荒天時等対応計画

行事中止の判断基準となるガイドラインの設定のほか、構成員の招集方法を定め、荒天時等の開催可否を判断するための「判定会議（仮称）」を設置します。

行事名	天候	対応	説明
お手入れ 行事	晴天	開催	計画に基づき開催します
	雨天		晴天時と同様に行事を開催します
	荒天	中止	屋外会場のため行事を中止します
式典行事	晴天	開催	計画に基づき開催します
	雨天		屋内会場のため開催します
	荒天		台風が接近した場合等参加者の安全輸送に支障を来す恐れがある場合には、プログラムの変更や規模縮小、開催中止を状況に応じて判断します

※大規模な地震等の緊急事態が発生した場合は、大会を中止します。

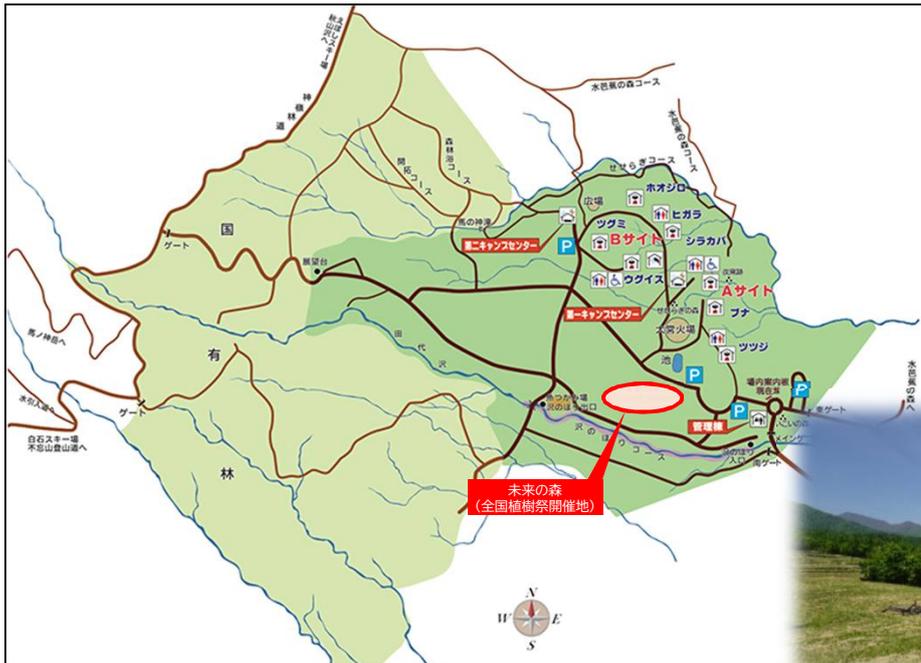


第48回全国植樹祭（1997年(平成9年)開催）で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木（ブナ、オヤマザクラ）を、皇族殿下がお手入れされるとい育樹の実践を通して「継続して森を守り育てることの大切さ」を全国に広めます。

1. 会場の概要

(1) 会場

国立花山青少年自然の家南蔵王野営場（白石市福岡深谷白萩山39）



南蔵王野営場は、宮城県西南部の蔵王国定公園内に位置し、登山口にもほど近く、自然の美しさ、厳しさを満喫できます。自然の中でのキャンプ生活を通じ、青少年の健全な育成を図るための施設です。

平成9年「第48回全国植樹祭」において天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木の周辺は「未来の森」と命名され、森林の大切さを今に伝えています。

(2) お手植え木の状況



天皇皇后両陛下のお手植え木：ブナ、オヤマザクラ



2. 会場整備・設営

(1) 会場整備

会場となる国立花山青少年自然の家南蔵王野営場で、円滑な行事運営に必要な整備を行います。

(2) 会場設営

本県で開催された第6回全国植樹祭及び第48回全国植樹祭の説明パネル、参加者席、テントなどの仮設物の設置を行います。仮設物の製作にあたっては、県産材を積極的に活用し、再利用可能な形状を工夫します。



お手入れ会場イメージ



3. 行事参加者

行事では、大会会長(参議院議長)など特別招待者や介添えを行う緑の少年団員、公募による参加者など約300人が参加し、会場内の樹木の手入れを行います。

4. 行事の概要

(1) 皇族殿下のお手入れ会場御着

大会会長(参議院議長)、公益社団法人国土緑化推進機構理事長、宮城県知事などによりお出迎えます。

(2) パネル展示などの御覧

皇族殿下に第6回全国植樹祭及び第48回全国植樹祭の様子やお手植え木の育成状況などを御説明します。

(3) お手入れ

皇族殿下により、天皇皇后両陛下のお手植え木に施肥などのお手入れがされます。

(4) 皇族殿下お手入れ会場御発



秋篠宮皇嗣殿下によるお手入れ(枝打ち)
第46回全国育樹祭(茨城県)



秋篠宮皇嗣妃殿下によるお手入れ(施肥)
第46回全国育樹祭(茨城県)



全国育樹祭の開催方針に基づき、大会テーマを象徴的に表現し、宮城県らしい緑の祭典となるよう演出します。

1. 会場の概要

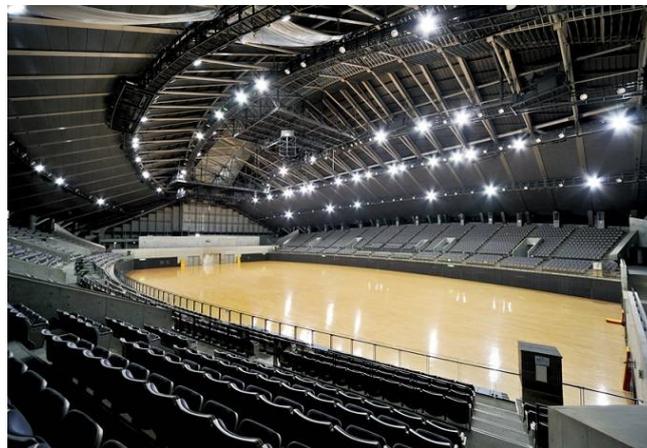
(1) 会場

宮城県総合運動公園（グランディ2 1） セキスイハイムスーパーアリーナ
（宮城県利府町菅谷館4 0 - 1）



バスケットボール・バレーボール等の室内競技の大会やコンサート・イベントに対応できるメインアリーナと、トレーニング等の機能を備えたサブアリーナからなり、様々な用途に対応可能な東北最大の施設です。

外観は2枚の葉っぱをもたれかけさせた形状で、柔らかくスムーズなフォルムを表現し、周囲との景観の調和を図っています。



セキスイハイムスーパーアリーナ（メインアリーナ）



2. 会場設営

式典会場の整備・設営にあたっては、必要最小限の整備等で効果的な演出が得られるよう目指すとともに、周囲の景観・環境に十分配慮し、安全で快適な会場づくりに努めます。

(1) 会場整備

式典会場は、セキスイハイムスーパーアリーナを使用します。屋内施設のメリットを活かした音響・照明等により演出効果を高める会場づくりを行います。既存の施設や設備を最大限利用することで、コストの低減を図ります。

(2) 会場設営

開催年度に必要な仮設物の設営などを行います。

なお、式典会場の設営にあたっては、宮城県産木材を積極的に活用します。

ア. 主な仮設計画

御席、参加者席、装飾などを設営します。また、音響装置、照明装置などを設置します。

イ. 会場装飾計画

参加者を歓迎するため、花の木製プランター等で式典会場及び周辺を装飾します。



第46回全国育樹祭（茨城県）



第46回全国育樹祭（茨城県）



3. 式典参加者

(1) 式典参加者の選考方針

森林・林業・木材産業関係者をはじめ、次世代を担う青少年やボランティア団体等のほか、一般公募による参加者など、各界各層の幅広い参加を求めます。

(2) 参加者の区分、人数、内訳

区分	人数	備考
中央・県外参加者	約1,500人	<ul style="list-style-type: none">宮城県知事と公益社団法人国土緑化推進機構理事長との協議による者各都道府県知事の推薦による者
県内参加者	約2,000人	<ul style="list-style-type: none">実行委員会会長の選考による者県内各市町村長の推薦による者一般公募
出演者・運営スタッフ等	約1,500人	<ul style="list-style-type: none">出演団体（アトラクション、緑の少年団等）式典音楽隊（吹奏楽隊、合唱隊）実施本部員
合計	約5,000人	



4. 式典行事の概要

(1) 基本構成

第48回全国育樹祭の開催方針に基づき、大会テーマを象徴的に表現し、かつ、本県の特色を活かした式典とします。基本構成は、プロローグ、式典、エピローグの3部構成とします。

(2) 各構成

ア. プロローグ

式典開催前に、県内外からの多数の参加者に対して、歓迎の意を込めたアトラクションを企画、実施します。

イ. 式典

皇族殿下のおことばや緑化功労者の表彰などを行うとともに、屋内施設のメリットを活かした音響・照明等により演出効果を高めたメインアトラクションを企画し、宮城県らしさの溢れる式典を実施します。

ウ. エピローグ

式典に参加いただいた方への感謝の意を含め、式典行事のフィナーレを飾るに相応しいアトラクションを企画、実施します。



第46回全国育樹祭（茨城県）



第46回全国育樹祭（茨城県）



第4章 式典行事計画

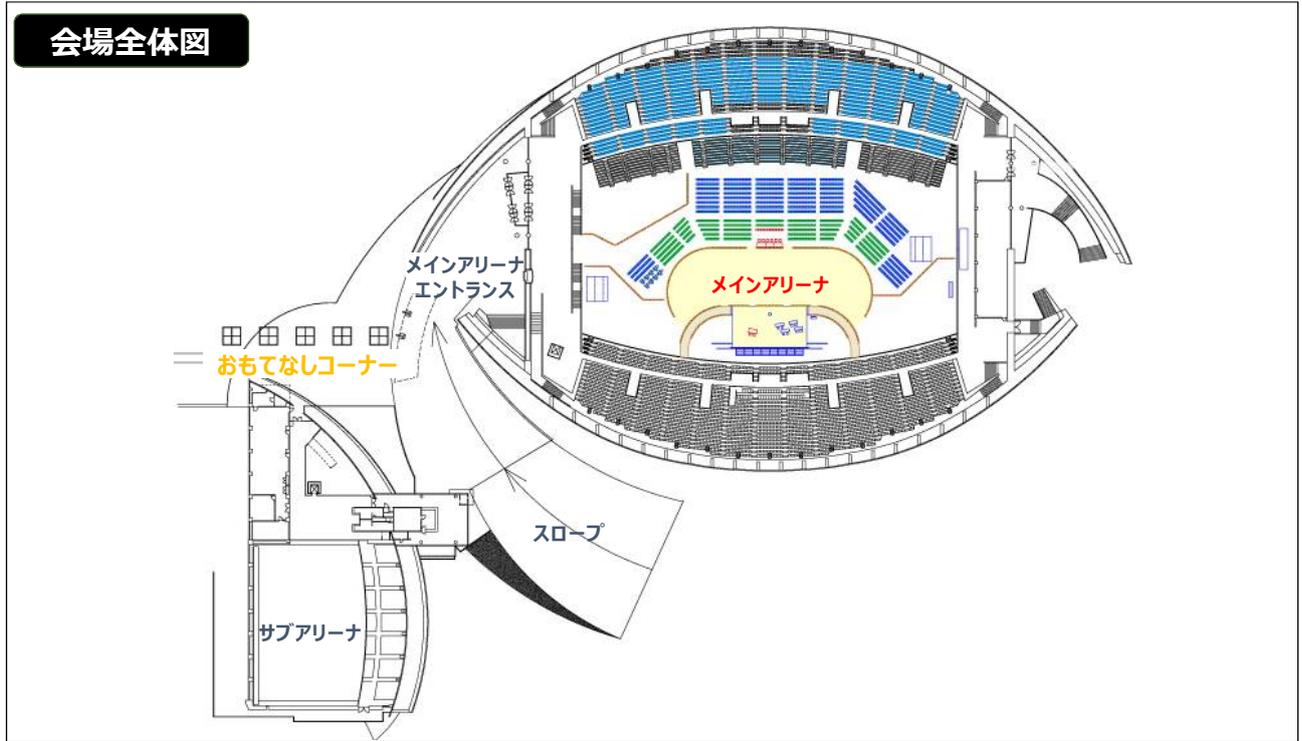


(3) 式典行事次第

項 目		説 明
1. プロローグ		
(1)	オープニングアトラクション	歓迎の意を込めたアトラクションを企画
(2)	お手入れ行事（前日）紹介映像	式典前日に開催したお手入れ行事の様子を紹介
(3)	宮城県紹介映像	育樹等行事など含めて宮城県を紹介
2. 式典【皇族殿下御臨席】		
(1)	皇族殿下御着	宮城県知事の先導
(2)	開会のことば	国土緑化推進機構 副理事長
(3)	三旗入場・緑の少年団入場	
(4)	国歌斉唱・三旗掲揚	
(5)	主催者挨拶	大会会長（参議院議長）、宮城県知事
(6)	歓迎のことば	宮城県議会議長
(7)	皇族殿下のおことば	
(8)	表彰	緑化功労者等に感謝状を贈呈
(9)	緑の贈呈	全国緑の少年団に記念品を贈呈
(10)	緑の少年団活動発表	全国緑の少年団を代表しての活動発表
(11)	メインアトラクション	参加者の記憶に残る宮城県らしいアトラクションを企画
(12)	大会宣言	国土緑化推進機構 理事長
(13)	次期開催県あいさつ	和歌山県知事
(14)	閉会のことば	利府町長
(15)	皇族殿下御発	
3. エピローグ		
(1)	エンディングアトラクション	感謝の意を込めたアトラクションを企画

5. 会場計画図

会場全体図



メインアリーナ



座席内訳

座席区分	席数
特別招待者 (1階)	約400席
招待者 (1階)	約1100席
招待者 (2階)	約2,000席
計	約3,500席



1. 育林交流集会

林業関係者はもとより、次世代を担う大学生や高校生、ボランティア団体など、森林・林業に関心を持つ人たちが参加し、森林・林業が直面する課題等をテーマに講演等を行います。

- 主催 : 宮城県、公益社団法人国土緑化推進機構
- 開催日 : 式典行事の前日
- 開催場所 : 宮城県内(未定)
- 参加人数 : 約300人



第46回全国育樹祭(茨城県)

2. 全国緑の少年団活動発表大会

全国から選出された緑の少年団が一堂に集い、森林の大切さや緑を守る活動を知るため、日ごろの活動について発表を行います。また、団員同士の親交を深めるため、交流集会を行います。

- 主催 : 宮城県、公益社団法人国土緑化推進機構
- 開催日 : 式典行事の前日
- 内容 :
 - ①活動発表大会
 - ・開催場所 宮城県内(未定)
 - ・参加人数 約300人
 - ・行事内容 活動発表、各種表彰 等
 - ②交流集会
 - ・開催場所 宮城県内(未定)
 - ・参加人数 約150人
 - ・行事内容 レクリエーション 等



第46回全国育樹祭(茨城県)



1. 記念行事

(1) 森林・林業・環境機械展示実演会

森林・林業・環境機械の安全使用と、機械化による施業の効率化を関係者に一層普及するとともに、一般参加者の関心・理解を高め、担い手を育成する契機とするため、最新の林業機械を中心とした展示・実演等を行います。

- 主催 : 宮城県、一般社団法人林業機械化協会
- 開催日 : 式典行事の当日及び翌日
- 開催場所 : 宮城県内（未定）
- 参加人数 : 約10,000人
- 行事内容 : 高性能林業機械等の展示実演等



第46回全国育樹祭（茨城県）

(2) その他の記念行事

全国育樹祭の開催気運を高めるとともに、県民参加の森林づくりや県産材利用の理解促進のため、広く県民が参加できる記念行事を開催します。

ア 国民参加の森林づくりシンポジウム

- 主催 : 宮城県、公益財団法人森林文化協会、朝日新聞社、
公益社団法人国土緑化推進機構
- 開催日 : 令和6年 秋季
- 開催場所 : 宮城県内（未定）
- 参加人数 : 約300人
- 行事内容 : 基調講演、パネルディスカッション 等

イ 宮城県みどりの少年団活動発表大会

- 主催 : 宮城県、公益社団法人宮城県緑化推進委員会
- 開催日 : 令和6年 冬季
- 開催場所 : 宮城県内（未定）
- 参加人数 : 約200人
- 行事内容 : 県内みどりの少年団による活動発表 等

ウ 育樹行事

市町村や関係団体等と連携し、県内各地での植樹・育樹活動や、木を身近に感じることができる体験イベント等を開催します。



1. 懇談会（歓迎レセプション）

皇族殿下の御臨席を仰ぎ、大会関係者を招待して懇談会(歓迎レセプション)を開催します。

- 主催 : 宮城県
- 開催日 : 式典行事の前日
- 開催場所 : 宮城県内ホテル（未定）
- 参加人数 : 約300人



第46回全国育樹祭（茨城県）

2. 広報・協賛

（1）広報・PR

全国育樹祭の開催理念や開催意義について広く普及・浸透を図り、開催気運を高めるため、効果的な広報を積極的に行います。

- ア. 公募により決定した「大会テーマ」「シンボルマーク」「ポスター原画」を効果的に活用します。
- イ. 県内各地で開催される様々なイベントと連携し、県民に向け、積極的な情報発信を行い、参加・参画への呼びかけを行います。
- ウ. 広報誌、テレビ、インターネットなど多様な広報媒体を活用した情報発信を積極的に行います。
- エ. 各種広報物品(リーフレット、ポスター、パネル、のぼりなど)を制作し、関係機関などに配布します。

（2）記録

全国育樹祭の開催記録を保存するために、記録誌や記録映像等を制作します。

（3）協賛

全国育樹祭の開催に賛同する企業・団体などを対象に、資金や物品、役務の提供、広報PRへ協力などの協賛参加者を広く募集します。

第48回全国育樹祭 基本計画

令和6年3月発行

編集・発行：第48回全国育樹祭宮城県実行委員会

(宮城県水産林政部全国育樹祭室内)

仙台市青葉区本町3丁目8番1号

電話：022-211-2473